

発達障害及びその傾向がある看護学生の支援～看護学実習に焦点をあてて～

発達障害及びその傾向がある学生が看護を学んでいく時、つまずきやすいのが実習です。そこで、学生の思考や行動の特徴を理解し、実習指導者や教員が看護学実習の際の環境や実習指導を考えたいと思います。皆様のご参加をお待ちしております。

参加費
無料

〈日時〉 2020年9月3日(木)
13:00～16:00

(13:00～14:30 講演、14:40～16:00 グループワーク)

〈対象〉 本学実習施設の看護職者のみなさま

〈方法〉 オンラインによる講演とグループワーク

〈講師〉 川上ちひろ先生

岐阜大学 医学教育開発研究センター 特任講師



〈専門領域や活動〉

専門領域として、発達障害のある児者への性と関係性の教育、医療者教育(多職種連携医療教育、コミュニケーション教育など)等を行っている。またNPO法人アスペ・エルデの会のディレクターとして、発達障害のある当事者、家族などの支援を行っている。

〈主な著書〉

発達障害のある子どもの性・人間関係の成長と支援関係をつくる・きずく・つなぐ(ブックレット:子どもの心と学校臨床)(2020年 遠見書房)

自閉スペクトラム症のある子への性と関係性の教育:具体的なケースから考える思春期の支援(2015年 金子書房)他

〈お申し込み方法〉

公立大学法人神戸市看護大学事務局宛
(臨地実習指導者研修会担当)まで
FAX:078(794)8086
締め切り:8月24日(月)17時

